



図書館員がおすすめる

今月の推し本



一般書

『ありがたい自分 でいるために やっぱり私は働くことにした』 日高 由記／著（自由国民社）



普通の会社員なら定年退職を意識し始める年齢である
53歳から初めて働き始めた著者。

専業主婦から一念発起して、好きだった「英語」の勉強をし直し、
75歳の現在でも現役の英会話学校の講師として活躍されています。

「ただ、ぼーっとしているだけでは何も変わらないし、何も始まらない
けれど、行動すれば見えてくることがある」とあとがきにあるように、
どのようにして勉強を始めたか、どうやって仕事を続けてこられたかなど、
「これからの人生」に参考になるヒントが満載です。

児童書

『本当に危ない闇バイトの話 ハンディ版』 廣末 登・芳賀 恒人／監修（金の星社）



昨今、未成年者が事件に巻き込まれる事例が増加しています。
それも被害者ではなく、犯行グループの一員として。

「闇バイト」の「闇」は「実態が見えない」ということ。

本書は過去に実際に闇バイトがかかわった事件として「特殊詐欺」

「違法売買」の例がマンガでわかりやすく解説してあります。

実際の手口や組織の実態を知ること、自分と誰かを守ることができます。

「自分は大丈夫・・・」と思わず、可能性に満ちた人生が台無しになること
のないように、じっくりと読んで欲しい1冊です。